

人工関節手術

関節は軟骨に覆われています。変形性関節症やリウマチなどの炎症、外傷他様々な原因で軟骨は変性摩耗します。傷んだ軟骨の修復に関する様々な試みが行われていますが現時点では軟骨の再生修復は困難と言わざるを得ません。傷んだ関節の骨軟骨を切除して金属やセラミックで置き換える手術が人工関節置換術です。多くのインプラント種類があり毎年のように新しい機種が発売されていますが必ずしも成績が良いわけではなく、新しい機種は逆に言えば実績がないため思わぬ不具合が判明することも稀ではありません。

○人工股関節置換術

人工関節手術の中で最も安定した成績、満足度が得られる手術と言えるでしょう。脱臼やゆるみといった問題はほぼ解決されつつあります。当科では豊富な前方系アプローチの経験を基に、更なる筋腱温存（とりわけインナーマッスルである短外旋筋群や小殿筋の温存）と個々の患者背景および病態に即した手術計画をモットーとして手術を行っています。

○人工膝関節置換術

人工関節置換術の中で最も日本で（世界でも）多く行われている手術です。人工股関節置換術に比べ患者満足度が低いことが報告されています。術後の膝の曲がりが悪いことも満足度低下の要因の一つと考えられます。当科では深屈曲が得られる実績のあるインプラントを選択し、手術計画はCT画像より3Dテンプレートを用いてより正確な手術を心がけています。